

令和6年度 第1学期 学校評価集計結果と分析について

知・徳・体・連携・その他（働き方等）で分ける（※印は、中学校区共通項目）

1 現状（グランドデザインとの関連）と重点取組の共有について

（1）チャレンジ目標・学校教育目標

項 目	期待値	結果		
		児童	保護者	教職員
1.(児・保)学校が好き。	90%	88.2%	86.0%	
2.(教)徳山小の教職員は、学校教育目標や重点目標を意識して、教育活動(授業や行事等)に取り組んでいる。	90%			100%

（2）【知】「確かな学力」の育成

項 目	期待値	結果		
		児童	保護者	教職員
3.(児・教)授業に主体的(進んで/集中して)に取り組んでいる。	90%	92.1%		91.9%
4.(児・教)授業がよく分かる。(内容を理解している)	90%	90.6%		100%
5.(児・保・教)話す人の目を見て話を聞いている。	90%	91.6%	88.7%	78.4%
6.(児・保・教)自分の考えを分かりやすく表現(話す/書く)することができている。	90%	82.3%	77.8%	59.5%
7.(児・教)友達と話し合うのは楽しい/学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深まったり、広がったりしている。	90%	90.0%		81.1%
8.(教)児童は、友達と協働して学び合うことができている。	90%			94.6%
9.(児・教)考えたり発表したりする時に、タブレットを上手に使うことができている(上学年)。タブレットの使い方が分かる(下学年)。	90%	84.4%		75.7%
10.(児・保)家庭学習の目標時間(低:20分、中:40分、高:60分)は取り組んでいる。	90%	77.9%	69.8%	
11.(教)児童は、家庭学習を忘れずに提出している。	90%			86.5%
12.(児・保・教)よく読書をしている。	90%	72.7%	47.9%	83.8%
※ 13.(児・保)学習で分からないことがあるとき、先生や家族に質問や相談をしている。 (教)児童が学習で分からないことがあるときに質問や相談を受ける場を設けている。	90%	83.5%	89.9%	94.6%

【分析結果】「言葉で表現する」ことに対して、教職員の評価が低い。本校の研修の柱である「言葉の力」の育成を目指し、授業改善を進めていくようにする。また、家庭学習の確実な実施に向け、家庭と連携し、工夫して行っていくようにする。読書活動については、委員会と保護者ボランティア等との連携強化を図り、工夫して取り組んでいきたい。

（3）【徳】「豊かな心」の育成

項 目	期待値	結果		
		児童	保護者	教職員
14.(児・教)1日の振り返りを、自分の言うことやすることに生かしている。	90%	75.5%		75.7%
15.(児・保・教)ポカポカ言葉を進んで使っている。	90%	88.4%	77.8%	73.0%
16.(児・教)掃除の時間、黙って、進んで掃除をしている。	90%	87.3%		45.9%
※ 17.(児・保・教)出会った人に、元気にあいさつをしている。	90%	86.8%	71.4%	54.1%
※ 18.(保)家庭では、「おはよう」など、お互いにあいさつをしている。 (教)児童が校内や校外で元気に挨拶をするように働きかけている。	90%		94.2%	100%
19.(保)お子様は、身のまわりの整理整頓を、自分でしている。	90%		66.1%	
20.(教)児童は、異学年の人とも進んで関わることができている。	90%			94.6%

【分析結果】全体的に評価が低い。特に、「黙って掃除」「元気な挨拶」については、昨年度から引き続き本校の中心課題の一つである。本校の校訓でもある「敬恕」「愛校」にもっとも関連するところであることから、プロジェクト部会や委員会を中心に、全校体制で取り組む必要がある。

(4) 【体】「健やかな体」の育成

	項 目	期待値	結果		
			児童	保護者	教職員
	21.(児・保・教)学校や家での生活では、進んで外で遊んだり、運動したりしている。	90%	83.9%	77.6%	94.6%
	22.(児・教)室内外では、安全に気を付けて行動することができている。	90%	94.1%		78.4%
※	23.(児)学校や家で、時間を守って生活している。 (保)家庭では、お子様が時間を守って規則正しい生活を送れるよう働きかけている。 (教)あなたは、児童が時間を守って行動できるように、指導・支援をしている。	90%	83.2%	93.6%	94.6%
※	24.(児)ゲームやタブレットの使い方について、家でルールを決めて守っている。 (保)家庭ではスマホやゲームについて、お子様と一緒にルールを決めている。	90%	86.6%	83.7%	

【分析結果】外遊びや運動について、児童・保護者の達成度がやや低い。保護者や地域の意見を参考にしながら取組を工夫しながら体力向上に向けて取り組んでいきたい。昨年度岐陽中校区の課題であった、「ゲームやスマホのルール」については、比較的高かった。昨年度の学校保健委員会やPTA保健部さんのアンケートや発表等の取組の効果といえる。

(5) 【連】地域とともにある学校づくり

	項 目	期待値	結果		
			児童	保護者	教職員
※	25.(児・保)地域の行事に参加している。	90%	66.7%	55.3%	
※	26.(児)地域の人や家の人と一緒に学習や行事をするのは楽しい。 (教)地域の人材等を活用した授業を实践し、児童の学びを深めることができている。	90%	82.3%		70.3%
	27.(保)学校だよりやメール、ホームページ等で学校の様子を把握している。 (教)学校は、学校だよりや学年だより、ホームページ等で積極的に情報を発信している。	90%		87.9%	91.9%
	28.(教)徳山小の教職員は、コミュニティ・スクールや地域連携教育について理解している。	90%			97.3%

【分析結果】地域行事への参加については、昨年度に引き続き低い状態である。学校運営協議会やカリマネ熟議での意見を参考に、地域人材等を積極的に活用した授業づくりを工夫したり地域の方が学校に来やすい環境を整えていったりすることで、地域とともに活動するよさを実感し、地域行事への参加の意識が高まるようにしたい。

2 その他（【教職員のみ】働き方改革・綱紀保持等）

	項 目	期待値	結果		
			児童	保護者	教職員
	29.(教)徳山小の教職員は、働き方改革への意識が高く、積極的に業務改善やコスト削減を進めている。	90%			48.6%
	30.(教)徳山小の教職員は、綱紀保持の意識が高い。	90%			100%
	31.(教)徳山小の教職員は、様々な教育活動に対して、組織的・協働的に取り組むことができている。	90%			97.3%

【分析結果】働き方改革への意識は、まだまだ低い。引き続き、業務の見直しや効率化、学校支援人材の活用などを積極的に進めていくよう努めていく。